

# オタゴ大学ランゲージセンター留学報告

工学部 環境応用化学科 1年 (松本 茉季南)

○派遣: ニュージーランド・オタゴ大学ランゲージセンター

○派遣期間: 2018年 2月14日 ~ 2018年 3月17日

○渡航時の学年: 1年次

○渡日前の手續について

・参加に至った経緯について:

大学生になったら一度は留学しようと考えていたことと、色々な国の人と関わることで新たな発見や自分の価値観を広げたかったため。

・渡航に関する手續について:

書類の提出、保険料の手續き、授業料・往復航空券の手續き

・査証取得:

なし

★体験記:

○生活費

プログラムの費用が29万円、往復の航空費が18万円、学校までのバス代が7000円、その他お土産代や友達との食事で8万円程度かかった。

○ホームステイ先の環境:

4人家族で8歳の娘と11歳の息子、犬と猫が一匹ずついた。朝食はトースト、昼食はサンドイッチを作ってくれた。夕食はパスタやバーガーなど様々なものを作ってくれて美味しかった。シャワーは10分で済ませなければならなかったが、洗濯は毎日出来るし特に不便な点はなかった。朝の時間や夕食後はなるべくホストファミリーと一緒に過ごしてたくさんコミュニケーションをとることで、仲良くなれた。



## ～宮大生のための海外渡航～

### ○大学のサポート状況:

困ったことや質問があった際も丁寧に対応していた。

### ○授業の様子:

レベルごとに5つにクラス分けされた。少人数で授業を受けることが出来たので、わからないことがあったらすぐに質問できてよかった。私のクラスでは、週に一度、単語・文法・発音・リスニング・リーディングのテストがあった。

### ○他の留学生たちの様子:

日本人が多かったが、その他に中国人・韓国人・タイ人・ブラジル人・南アフリカ人・オマーン人・アルゼンチン人などがいた。同じクラスでもスピーキング力の差を感じた。



### ○現地学生との交流

特に交流はなかったが、大学のジムやカフェにはたくさんいた。

### ○街の様子:

大学の近くのジョージストリートにはよく行った。沢山お店があるのでそこに行けばだいたい何でもそろえると思う。大学へはバスで毎日通った。

### ○今後、海外渡航を希望する宮大生のみなさんへ

日本人が多かったものの英語しか使えないという環境にいたことはいい経験だった。自分の殻を破って積極的になることの大切さを改めて感じた。1ヶ月は本当にあっという間でもっと居たいという気持ちもあったが、充実した毎日を送る事ができ、なにより楽しく過ごせた事がよかった。留学したいという気持ちが少しでもあるのなら、是非挑戦してみてください！

